記者発表資料

平成３０年　８月３０日
東 北 地 方 整 備 局

入札監視委員会の審議概要について
（第一部会第１回定例会議）

東北地方整備局入札監視委員会の平成３０年度第一部会第１回定例会議が、平成３０年７月２７日（金）に仙台市の東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要（別紙）についてお知らせします。

なお、第一部会第１回定例会議では、委員会が抽出した案件９件の審議が行われ、意見の具申又は勧告事項はありませんでした。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問 い 合 わ せ 先

国土交通省　東北地方整備局
（第一部会）　仙台市青葉区本町３－３－１　　TEL (022)225-2171（代表）

主 任 監 査 官　佐藤（さとう） 博明（ひろあき）（内線２１１４）
入札契約監査官　鈴木（すずき） 浩三（こうぞう）（内線２２２０）
契 約 管 理 官　中新田（なかしんでん） 由雄（よしお）（内線２２２２）
技術開発調整官　畠山（はたけやま） 浩晃（ひろあき）（内線３１２０）

東北地方整備局　入札監視委員会（第一部会）　審議概要

開催日及び場所		平成３０年７月２７日（金）　東北地方整備局　大会議室	
委員		部　会　長　久田　　真　【(国) 東北大学大学院 工学研究科 教授】 部会長代理　泉田　成美　【(国)東北大学大学院 経済学研究科 教授】 委　　員　大泉　太由子【(一社)東北圏地域づくりコンソーシアム 理事】 委　　員　鈴木　　覚　【弁護士】	
審議対象期間		平成３０年　１月　１日　～　平成３０年　３月３１日	
審議案件		総件数　　９件　（別紙－１ 審議案件一覧のとおり）	
工事	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象）	１件	（備考） (1)工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (2)指名停止等の運用状況 (3)談合情報等の対応状況 (4)再度入札における一位不動状況 (5)低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 について報告を行った。
	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象以外）	４件	
	工事希望型競争入札	０件	
	指名競争入札	１件	
	随意契約	０件	
建設コンサルタント業務等		２件	
役務の提供等及び物品製造等		１件	
委員からの意見・質問、それに対する説明・回答		別紙－２のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容		別紙－３のとおり	

別紙 － 1

審 議 案 件 一 覧

【工事】

入札方式	工 事 名	工 事 種 別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事）	国道45号　大峠山地区道路工事	一般土木工事	15	8	平成30年3月7日	戸田建設（株）	4,953,960	90.4	仙台

入札方式	工 事 名	工 事 種 別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	桑畑橋補修工事	鋼橋上部工事	1	1	平成30年3月22日	ショーボンド建設（株）	177,120	98.6	三陸国道
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	南陽歩道整備工事	一般土木工事	3	3	平成30年3月20日	羽山総合建設（株）	85,860	99.9	山形
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	赤川下流河川維持工事	維持修繕工事	2	2	平成30年3月8日	（株）鈴木工務店	49,140	99.9	酒田
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	白川ダム貯砂ダムゲート改良工事	機械設備工事	1	1	平成30年3月7日	東北電機鉄工（株）	93,420	99.8	最上川統管

入札方式	工 事 名	工 事 種 別	指名業者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
工事希望型以外の指名競争入札方式	湯沢職安（17）空調設備改修工事	暖冷房衛生設備工事	29	4	平成30年2月27日	岩野設備工業（株）	54,108	98.4	盛岡営繕

【建設コンサルタント業務等】

入札方式	業 務 名	業 種 区 分	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
一般競争入札方式	藤サブステーション新築設計業務	建築関係建設コンサルタント業務	5	5	平成30年1月10日	（株）SUN総合	4,644	60.7	郡山国道

入札方式	業 務 名	業 種 区 分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
簡易公募型競争入札方式	酒田港湾合同庁舎耐震改修検討外業務	建築関係建設コンサルタント業務	9	8	平成30年2月22日	（株）熊澤建築設計事務所	3,810	50.0	営繕部

【役務の提供等及び物品の製造等】

入札方式	業 務 名	業 務 分 類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
一般競争入札方式	複合機・プリンタ賃貸借及び保守（18-03）	役務の提供等	2	2	平成30年1月15日	富士ゼロックス宮城（株）	121,788	20.1	総務部

別紙－２

１．報告	
意見・質問	説明・回答
質問なし	

２．審議	
意見・質問	説明・回答
１　国道４５号　大峠山地区道路工事	
・下請け契約一覧表を見ると、1 次下請けのうち１社が２次下請け５社と契約しており、下請け金額の合計が６割を超える金額だが、これが一括下請けにあたらないならば、実質的に施工に関与しているということは確認しているか。	・トンネルの電気室を施工しているもので、専門工事である鉄筋型枠、コンクリート等の工事を下請けとしている。全体のマネジメントも実施しており一括下請けでないことを確認している。
・トンネルと橋梁を同一工事として発注することが効率的なのか。	・分割して発注すると各工事業者が錯綜し、工事進捗の低下が懸念されるが､同一業者による施工であれば、工事用道路の相互利用、建設機械の共有が可能で、地域を通過する車両数が減少し、粉塵の低減などにより地域の安全が図られ合理的であると判断し、一括で発注したものである。
・入札の結果、入札価格が低いことで無効となったとのことだが、どの程度の入札価格であったのか。また、どうして低価格の入札としたかの原因がわかれば説明願いたい。	・調査基準価格は、おおむね９０％前後に設定している。本工事の落札率も９０.４％であり、競争性が働いたものと考えられる。無効とした入札は調査基準価格をわずかに下回っている。
２　桑畑橋補修工事	
・年度末の発注と、入札参加者数が少なく落札率が高いことの関係をどのように考えるか。	・年度末は、工事完成時期であり技術者が確保しやすい時期と考え年度末発注とした。発注時期と入札参加者数・落札率に関係はないと考える。
・入札参加者数を増やす・競争性を高める点ではどういう形で発注を見直しすべきと考えるか。	・今回の発注工事では、入札参加要件を拡大するため従来の参加要件に加え、橋梁の新設も認めたところ。今後は発注ロットの拡大や複数年契約を考えていきたい。

3　南陽歩道整備工事	
・年度末発注だが、落札率が高いことと関係があると考えるか。	・落札率が高いのは、経費等の関係と考えており、年度末発注との関係はないと考える。
・年度末発注、特に道路工事が非常に多いが、技術者の配置は十分だと考え発注しているのか。	・年度末は技術者に余裕ができると考え発注している。ただし、企業側にとって「得意分野」「現場条件」「地域精通度」などの条件によって参加しにくい場合もあると考えている。
・落札率が高いことと、安全対策経費との関係は。	・現場管理費や共通仮設費などの間接費は、過去の実績をふまえ率計上している。率計上の中には、一般的な経費が計上されているが、本工事の工事箇所は交通量が非常に多い区間であり、沿道の店舗も多いため、通学時間帯の安全対策経費も含め企業側の積算が高くなったものと考える。
4　赤川下流河川維持工事	
・過去５年間、鈴木工務店が落札しており、本工事も高落札率で鈴木工務店が落札しているが過去５年間の落札率は。	・本工事同様、高落札率であった。
・過去５年間の入札参加者はどうか。１社入札であったのか。	・複数社が参加している。
・今回の入札で他社が無効となっているが、理由は。	・予定していた技術者を配置できなくなったためである。
・競争性を確保するために、今後、どのような取組を考えているか。	・複数年契約を検討したいと考えている。また、業界とも意見交換していきたい。
5　白川ダム貯砂ダムゲート改良工事	
・ダムの設備関係の入札は１社入札が多いが、新たな企業が参加できる方策を検討しているか。	・今回、施工実績としてダムだけに限らず河川用の設備も含め公告している。また、本案件は新設工事であるが、修繕工事も含め施工実績の拡大を図ったが結果的に１社であった。今後も施工実績の緩和を検討してまいりたい。
6　湯沢職安（１７）空調設備改修工事	
・今回の工事では２９社を指名しているが国土交通省の基準では何社くらいを指名するのか。	・官庁営繕工事の場合、不調不落が多いことから指名業者数を拡大し、２９社を指名したものである。
・県境を接する他県の企業を指名することはできないのか。	・通常指名競争入札の場合、地域要件を条件に設定しており、通常、他県の企業を指名することはない。

・４社が入札に参加しているが、他の企業が辞退した理由は	・地方自治体等の工事受注により、技術者が配置できないためと考えられる。
7　藤サブステーション新築設計業務	
・落札率が低いが、予定価格の設定はどのようになっているか。 ・低価格で契約したことにより、安かろう、悪かろうでは困ると思うが、確認はどのように行うのか。	・公表されている歩掛りがあり、それに基づき積算している。 ・主任担当技術者との打合せも問題なく適切に履行され、業務完了時は完了検査を実施し、内容を確認している。
8　酒田港湾合同庁舎耐震改修検討外業務	
・低価格で契約したことにより、安かろう、悪かろうでは困ると思うが、確認はどのように行うのか。 ・災害対応拠点となる施設であり耐震補強したあと、業務スペースが狭くなり災害対応等に支障を来すことが無いのか。	・受注者は、一級建築士、構造設計一級建築士、設備設計一級建築士が在籍し、すべて自社職員で対応しており、調査職員との打合せも適時、適切に実施され、段階毎に内容を確認している。 ・本施設は特殊な形状であり、通常の柱の位置に行う、耐震補強では必要な執務スペースを確保できなくなるため、本業務においては制震構造・免震構造による改修についても検討することとしている。
9　複合機・プリンタ賃貸借及び保守（18-03）	
・この規模の台数でも入札へは２者しか参加しないのか。 ・今までは何処と契約していたか。	・過去には今回入札した２者の他に「コニカミノルタ」や「NEC」が参加している。 ・管内で３件契約しているが、宮城ゼロックスとリコージャパンの２社である。

別紙－３

３．委員会による意見の具申又は勧告内容

本日の審議案件について、意見の具申又は勧告事項はない。

ただし、今後の入札契約手続きにおいて意見要望がある。

・下請け契約がある工事については、一括下請けではないことの説明ができるよう、事前に準備しておいて頂きたい。
・除草を含む河川維持工事について、毎年度、同一業者が受注している案件は、競争性を確保する観点から、単年度で発注するよりも複数年契約で発注すれば競争性が確保できると思われる。
一方で、複数年契約となれば業務の質の確保も懸念されるので、しっかりと監督して頂く必要も考慮し複数年契約を検討して頂きたい。
・落札率の低い業務を審議したが、本来の業務の中身が全うされるようしっかり管理を怠らずに進めてもらいたい。

今後とも、入札及び契約手続きにおける一層の透明性及び競争性の確保など、入札・契約業務の適正な執行を図っていただきたい。

【当局からのコメント】

意見要望のありました３点については、今後の入札契約業務の参考にさせて頂きます。
併せて、本日の、報告・議事等を通じて頂戴しました皆様の疑問、ご意見を今後の入札・契約の業務に反映し、透明性・競争性の確保に努めていく所存でございます。